



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 新電元工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6844 URL https://www.shindengen.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 吉憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 企画部長 (氏名) 松本 義明 TEL 03-3279-4431  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	45,431	△2.5	994	△66.2	991	△68.9	907	△61.0
2019年3月期第2四半期	46,595	5.7	2,944	△28.4	3,188	△26.8	2,324	△34.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 658百万円 (△13.8%) 2019年3月期第2四半期 764百万円 (△79.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	88.05	—
2019年3月期第2四半期	225.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	129,376	58,849	45.5
2019年3月期	128,669	59,470	46.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 58,849百万円 2019年3月期 59,470百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	125.00	125.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	125.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,100	△0.6	1,500	△73.4	1,700	△71.6	1,400	△63.9	135.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	10,338,884株	2019年3月期	10,338,884株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	36,914株	2019年3月期	39,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	10,300,728株	2019年3月期2Q	10,299,878株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2019年11月11日（月）に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2 四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられ、製造業を中心に景況感の悪化が進みました。海外においては、地政学リスクや保護主義政策による政治的な混乱など、先行き不透明な状況が続くなか、世界経済全体としても減速傾向となりました。

当社グループを取り巻く環境は、半導体需要の低迷にくわえ、二輪車市場も多くの地域で伸び悩み、全体としては厳しい状況が続きました。

このようななか、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,431百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は994百万円（前年同期比66.2%減）、経常利益は991百万円（前年同期比68.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は907百万円（前年同期比61.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、セグメント間の取引については相殺消去して記載しております。

## (デバイス事業)

デバイス事業の売上高は15,447百万円（前年同期比10.1%減）、営業損失は52百万円（前年同期は1,753百万円の利益）となりました。

家電市場は、空調機向けが国内を中心に軟調へと転じたほか、自動車市場および産業機器市場では、市況低迷が続いた結果、事業全体では減収となりました。損益面においては、コストダウンに努めたものの、減収の影響および生産量の減少に伴う稼働率の低下のほか、減価償却費の増加などで減益となりました。

## (電装事業)

電装事業の売上高は25,573百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は3,219百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

主力の二輪向け製品は、インドで市況の低迷が続き、ベトナムも好調だった前期に比べ軟調に推移した一方で、インドネシアでは底堅く推移しました。そのほか、発電機用インバータ製品なども堅調に推移したことで、事業全体では増収となりました。損益面においては、製品構成の変化やアジア通貨安の影響などで減益となりました。

## (その他)

その他の売上高は4,410百万円（前年同期比11.2%増）、営業損失は298百万円（前年同期は424百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は129,376百万円（前期末比707百万円増）となりました。これは、主に建設仮勘定が増加したことなどによるものであります。

また、負債は70,526百万円（前期末比1,327百万円増）となりました。これは、主に長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は58,849百万円（前期末比620百万円減）となり、自己資本比率は45.5%となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は5,712円49銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月1日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更ございません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

国際会計基準（IFRS）の適用については、同基準の理解・習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しており、それらの内容を踏まえつつ、国内外の諸情勢を考慮の上、適用の可能性や時期等を検討してまいります。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,505	29,479
受取手形及び売掛金	19,044	17,209
有価証券	7,000	3,000
商品及び製品	8,430	7,974
仕掛品	4,704	4,726
原材料及び貯蔵品	10,624	10,655
その他	4,583	2,960
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	79,874	75,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,094	8,427
機械装置及び運搬具（純額）	8,699	8,897
土地	5,769	5,739
リース資産（純額）	948	1,133
建設仮勘定	2,201	5,664
その他（純額）	1,782	1,688
有形固定資産合計	27,495	31,551
無形固定資産		
ソフトウェア	955	901
リース資産	0	—
その他	553	476
無形固定資産合計	1,509	1,377
投資その他の資産		
投資有価証券	13,673	13,721
繰延税金資産	5,505	5,922
その他	659	862
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	19,789	20,459
固定資産合計	48,795	53,388
資産合計	128,669	129,376

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,283	13,954
短期借入金	5,750	4,775
1年内償還予定の社債	975	1,225
リース債務	280	331
未払法人税等	62	51
賞与引当金	1,111	1,103
その他	6,668	8,797
流動負債合計	30,131	30,239
固定負債		
社債	6,300	5,625
長期借入金	13,725	16,000
リース債務	745	892
繰延税金負債	128	101
退職給付に係る負債	15,305	14,974
製品保証引当金	2,690	2,510
資産除去債務	141	141
その他	32	42
固定負債合計	39,067	40,287
負債合計	69,199	70,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,823	17,823
資本剰余金	7,738	7,738
利益剰余金	35,695	35,315
自己株式	△145	△136
株主資本合計	61,111	60,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,719	1,718
為替換算調整勘定	△1,659	△2,025
退職給付に係る調整累計額	△1,702	△1,582
その他の包括利益累計額合計	△1,641	△1,890
純資産合計	59,470	58,849
負債純資産合計	128,669	129,376

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	46,595	45,431
売上原価	36,841	38,159
売上総利益	9,754	7,272
販売費及び一般管理費	6,809	6,278
営業利益	2,944	994
営業外収益		
受取利息	73	70
受取配当金	189	196
持分法による投資利益	263	147
受取ロイヤリティー	22	19
その他	75	74
営業外収益合計	625	509
営業外費用		
支払利息	126	92
為替差損	107	294
その他	147	126
営業外費用合計	381	513
経常利益	3,188	991
特別損失		
減損損失	—	9
事業構造改善費用	164	—
特別損失合計	164	9
税金等調整前四半期純利益	3,024	982
法人税、住民税及び事業税	703	581
法人税等調整額	△4	△506
法人税等合計	699	75
四半期純利益	2,324	907
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,324	907
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△542	△1
為替換算調整勘定	△1,075	△265
退職給付に係る調整額	126	119
持分法適用会社に対する持分相当額	△69	△100
その他の包括利益合計	△1,560	△248
四半期包括利益	764	658
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	764	658
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注) 3
	デバイス 事業	電装事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,185	25,444	42,630	3,965	46,595	—	46,595
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,248	21	3,269	—	3,269	△3,269	—
計	20,433	25,466	45,899	3,965	49,865	△3,269	46,595
セグメント利益又は 損失(△)	1,753	3,901	5,654	△424	5,230	△2,285	2,944

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エネルギーシステム事業及びソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,285百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注) 3
	デバイス 事業	電装事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,447	25,573	41,021	4,410	45,431	—	45,431
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,144	1	3,146	—	3,146	△3,146	—
計	18,591	25,575	44,167	4,410	48,578	△3,146	45,431
セグメント利益又は 損失(△)	△52	3,219	3,166	△298	2,867	△1,873	994

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エネルギーシステム事業及びソレノイド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,873百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。